



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：佐藤 真紀（2年次）

2年目になってからは初めて（大変申し訳ありません!!!）、通算3回目の投稿です！

最近気を付けなければを思った出来事があります。

グラム染色という、患者さんに何らかの感染症を疑ったときに行う検査をした時の話です。尿や痰などを患者さんから採取し、プレパラートを作り、顕微鏡で細菌や白血球がないか、感染源はどこかを探し抗生剤を決めるという、古典的だけど論理的な検査の一つです。

細菌検査室にお邪魔して、自分で作業しています。

プレパラートを作る過程で必ずガスバーナーを使うのですが・・・

ガスバーナーの着火手順を間違い、着火の瞬間に1度爆発させてしまい、周りの技師さんをビビらせてしまいました。

バーナーの着火手順も知らないなんて・・・自分はまだまだ無知です。（続く）

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。



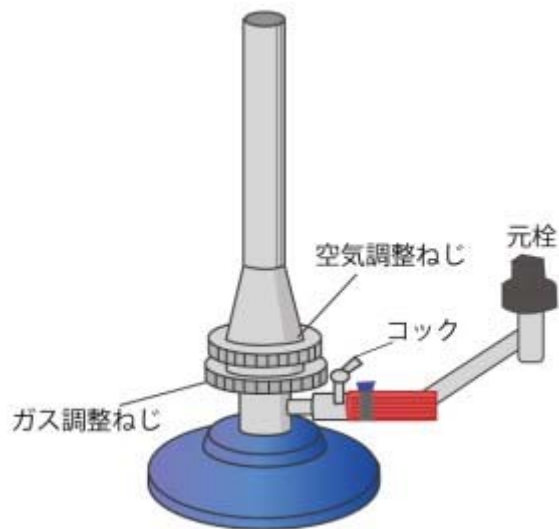
研修医日記

作成者：佐藤 真紀（2年次）

（前回の続き）

ここで今一度、ガスバーナーの着火手順について振り返ろうと思います。

- ① 空気調節ねじ、ガス調節ねじが締まっていることを確認する
- ② 元栓、コックの順に開く
- ③ マッチに火をつける、またはチャッカマンを手元に用意する
- ④ 火をガスバーナーの口に斜め下から近づけてガス調節ねじを緩めて点火
- ⑤ ガス調節ねじを回してガスの量を調節し、適当な炎の大きさにする
- ⑥ 空気調節ねじをゆるめて空気の量を調節し、適正な炎にする



どうやらねじより先にコックを開いたことが爆発の原因だったようです。

テストにでるので、ちゃんと勉強しておいてくださいね！笑

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。